



# こもれびの森 ウッドランドクラブ通信 9月号

宮城県こもれびの森森林科学館 2013年9月25日(発行者 島貴房雄)  
栗原市花山字草木沢角間10-7 Tel/Fax0228-56-2330  
<http://mifi.main.jp/komorebi.htm>

## 9月号は秋の話題・・・満載です

夏休みバージョンのビックイベントが終わり、森林科学館はひっそりとした感じですが、園内ではミズヒキ、ギボウシ、ツリフネソウ、アザミなどの秋の草花が咲いています。樹木や草本にも実がはっきりしてきました。ウバユリの実、USBメモリーのコネクターのマークみたいで、鮮やかな赤色の実がガマズミ。ムラサキシキブの実は日に当たるとさらに紫色が増し、まるで「紫真珠」みたいです。ツリバナの赤い実は枝に吊り下がり今にも落ちそうです。実の付き方も観察してみると面白いです。

暑い夏を乗り切った昆虫たちが秋の陽射しを浴びて気持ち良さそうです。アサギマダラは国蝶の候補にもなったチョウで翅の紋様と配色がとてもキレイです。アザミにはヒョウモンチョウが、ルリシジミは池から引き揚げた藻に群がり吸水しています。池ではトンボ類が羽を休めています。

これから秋にふさわしいイベント企画が目白押し、29日には「初秋の自然観察会とお茶会」が行われます。身近にある草花を摘んで竹の筒に飾り、抹茶も立て風情を楽しめます。一足先に玄関前の特製の竹筒に秋の草花を生けてみました。どうぞ、こもれびの森で秋を満喫してください。

こもれびの森の主役たち 上左からアサギマダラ、ヒョウモンチョウ、ルリシジミ、ミヤマカワトンボ、ギボウシ、キツネノカミソリ、ツリフネソウ、ノシメトンボ



ウバユリ実の中には600個もの種が入っています



鮮やかな赤い実は野山で一番くらいに目立っています



まさに雑木林の「紫真珠」



ツリバナの実は吊り下がり



## しま所長のコラム

花山小学校の一、二年生8名の児童の皆さんが当館に来てくれ、クラフトや自然観察を体験しました。「楽しかった・・・」と、感謝のお手紙が届きました。でも、もっと楽しいのはピザ焼きは流しうどんだったようです。またおいでになってください。

(流しうどんにも使った流し台の竹材は、坊の蔵さんからのご提供です。夏のイベントでは大いに利用させていただきました。書面を借りて御礼を申し上げます)

良く回るエコ風車、これは協会のS理事からプレゼントしていただいたものです。自宅庭のヒノキが伸びすぎて、上の部分をちょん切ったところが殺風景なので付けてみました。風向きに合わせて回るので、天気予報にも使えます。東風が吹くと天気は下り気味、西風になると回復傾向・・・という具合です。最近では、近所のデイサービスのお年寄りが散歩の途中に皆で眺めています。

・・・これからの「こもれびの森ウッドランドクラブ」のご案内！

- 9月29日(日) 初秋の自然観察会とお茶会
- 10月20日(日) 花山の秋満載、自然観察会と芋煮会
- 11月3日(日) 紅葉の中でノルディックウォークinこもれびの森

※定員30名、参加費500円。10時～13時頃、場所は森林科学館とその周辺。お問い合わせとお申し込みは、当館まで電話かFAXでお願いいたします。

